

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1034	(H.24)No.	1034
-----------	------	-----------	------

事務事業名	地域ささえあい事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
健康福祉部	健康福祉政策室	高嶋 正広	

会計区分	事業コード	121012
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款 民生費	地域福祉推進事業	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 社会福祉総務費	地域ささえあい事業	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	3	健康福祉ネットワークの構築
	施策	1	健康福祉ネットワーク
	小施策	3	地域福祉推進体制の整備
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
誰もが住みなれた地域で安心して暮らし続けることができるように、地域が主体となって支援を要する人に対してもれなく見守り及び生活支援が行われるための、しくみづくりを行う。
事業内容
名張市地域福祉計画における重点事業の一つである「地域ささえあい」事業の一環である次の取組みを、厚生労働省のセーフティネット支援対策事業補助金(補助率10割、H.25年度まで)を活用して行う。 まちの保健室職員のネットワーク能力の向上 地域づくり組織による日常生活支援の有償ボランティア体制の構築 支援する人を支援する仕組みづくり

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	専門機関への調査研究委託 委託料800,000円 地域づくり組織への事業委託 委託料750,000円 モデル地区のまちの保健室の職員人件費(2名)、事務補助職員人件費(1名) 賃金・共済費計6,327,000円 その他、出張旅費(全国会議・先進地視察)、事務用備品購入等	地域包括支援センターの機能充実(障害者基幹相談支援センターの併設等) 地域づくり組織への事業委託(状況に応じて実施) その他、出張旅費(全国会議・先進地視察)、事務用備品購入等			

	H.24年度(決算見込)		H.25年度(作成時予算額)		H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	8,503千円		9,996千円				
内訳(千円)	8,503		9,996				
国・県支出金							
地方債							
その他()							
一般財源	(0) 0		0		0	0	0
人員数	0.15人		0.08人				
職員	2.09人		3.00人				
臨時職員等							
概算人件費	(0千円) 1,155千円		616千円		0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 9,658千円		10,612千円		0千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
まちの保健室職員のコミュニティソーシャルワーク能力の向上に取組んだ。 比奈知地区において高齢者等要援護者に対する有償ボランティアによる日常生活支援体制を立ち上げることができた。	引き続きまちの保健室職員のネットワーク能力の向上を図るとともに、障害者等を含む総合相談機能の充実に取組む。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか A(2つ以上の施策指標達成に貢献又は基本方針達成に特に貢献)	まちの保健室が地域における住民の支え合い活動のコーディネート役となるよう取組んだ。1地区(比奈知)で有償ボランティアによる日常生活支援体制を立ち上げることができた。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 実践している(実践内容を記載)	地域づくり組織がその活動の一つとして、有償ボランティアによる日常生活支援を実施する体制づくりを市が支援(財政面他)

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 名張市地域福祉計画